

みやぎIT教育推進事業 プロジェクト趣旨説明

～ITで培うみやぎの子ども～

宮城県教育研修センター 主任主査 成瀬 啓

k-naruse@edu-c.pref.miyagi.jp

URL <http://www.edu-c.pref.miyagi.jp>

<http://e-net.edu-c.pref.miyagi.jp>

キーワード：みやぎIT教育推進構想，みやぎIT教育推進事業，みやぎSWAN

1. 宮城の現状と課題

1. 1 宮城県の現状 (文部科学省実態調査「学校における情報教育の実態等に関する調査」平成17年3月31日現在)

①高速インターネット接続立(%) ②普通教室のLAN整備率(%) ③PCを使って教科指導ができる教員(%)

	全国平均	県平均(順位)		全国平均	県平均(順位)		全国平均	県平均(順位)
小学校	78.4	68.8(40位)	小学校	37.1	42.6(22位)	小学校	80.1	76.9(32位)
中学校	82.2	71.4(39位)	中学校	40.0	39.6(29位)	中学校	60.5	52.2(37位)
高校	95.5	96.8(25位)	高校	71.5	93.3(20位)	高校	55.1	47.9(35位)
合計	81.7	73.5(38位)	合計	44.3	51.7(24位)	合計	68.0	62.5(39位)

1. 2 宮城県の課題

- ・県内の優れた実践事例や教材，コンテンツの集約・蓄積，共有化
- ・県内の優れた実践者の連携を図るネットワークの構築
- ・各教科等での計画的な活用促進とその指導資料の提供
- ・情報化の光と影に対する計画的な取り組みとその指導資料の提供
- ・スキル研修から活用研修への教職員研修の改善
- ・環境整備の施策から活用促進の施策へ

↓
○学校教育におけるIT活用推進のための，具体的に企画・運営する機構の構築

○学校教育におけるIT活用充実のための，互いに情報交換でき，実践や教材の共有化を図る場の構築

○学校教育におけるIT活用拡充のための，ネットワーク環境の改善・充実を図る取り組み



2. これまでの宮城の「教育の情報化」に関する施策

2. 1 宮城県学習情報ネットワーク(みやぎSWAN)の構築と運用

○平成10年4月「宮城県学習情報ネットワーク(旧みやぎSWAN)」稼働

→高度情報化社会における教育分野でのインターネット活用がスタート

○平成15年4月「宮城県学習情報ネットワーク(新みやぎSWAN)」稼働 <http://www.myswan.ne.jp/index.cgi>

→「みやぎハイパーウェブ」を基幹回線とした高速接続を実現

有害情報排除，個人情報保護，不正使用の防止，内部資料の漏洩等の防止等セキュリティの管理を一元化
教育用コンテンツの提供，児童・生徒の発達段階に応じ，適切な教育利用に対応

2. 2 高等学校校内LAN整備事業

○県立高等学校教育用校内LAN整備及び教育用コンピュータの配備

各普通教室2台，特別教室6教室に1台，各学年に液晶プロジェクタ，スクリーンを1台ずつ

宮城県高等学校情報教育推進事業

○教科「情報」の円滑実施に向け，授業補助要員を派遣

2. 3 文部科学省「教育情報共有化促進モデル事業」の推進

○「宮城県高等学校情報科教育研究会」 <http://e-net3.edu-c.pref.miyagi.jp/eis-project/>

・教科「情報」を学ぶ生徒や指導する教員同士の交流の場「情報科教育ポータルサイト P.site」構築

○「宮城県高等学校農業教育研究会」 <http://enet3.edu-c.pref.miyagi.jp/agri/>

・農業の学習を支援する「学習支援ポータルサイト A.Project」構築

2. 4 ICTスキルアッププログラム

ICT教育推進プログラム協議会と相互に連携して，平成17～19年度までの3カ年の間，90カ所，1800名の教職員の情報教育研修を実施。全ての教員があらゆる教科でITを活用して指導できる資質向上を図る。

3. みやぎIT教育推進構想（平成16年3月策定） <http://www.edu-c.pref.miyagi.jp/MiyagiIT/>

3. 1 推進構想策定の趣旨

- (1) 背景
- ・高度情報化社会の到来に伴う、教育の情報化の急速な進展
 - ・新学習指導要領に基づくITを活用した授業の実現が急務
 - ・平成15年度からの新「みやぎSWAN」の運用開始に伴いIT活用促進の必要
 - ・みやぎIT戦略推進計画の見直しに伴う、IT教育の一層の推進を図るための、新IT教育推進構想の策定が必要
- (2) 目的
- みやぎIT戦略推進計画の下、本県のIT教育施策を統一的に展開し、IT教育の一層の推進を図るための新IT教育推進構想を策定するもの。



3. 2 基本的理念 「ITで培うみやぎっ子づくりの推進—e-Miyagi（イー・みやぎ）」

「みやぎの新しいIT教育の創造と、ITを活用した創造性豊かな人づくり、個性溢れる学校づくり、共に融合した連携づくりを支える新たな地平を培い、豊かな地域社会の一員として、人と人がつながり合い、支え合い、自らを高め、未来を生き抜いていこうとするみやぎっ子づくりを目指す。」

3. 3 三つの基本目標

- ① ITを活用したみやぎの人づくり e-Human Miyagi（イー・ヒューマン・みやぎ）
- ② ITを活用したみやぎの学校づくり e-School Miyagi（イー・スクール・みやぎ）
- ③ ITを活用したみやぎの連携づくり e-Community Miyagi（イー・コミュニティ・みやぎ）

4. みやぎIT教育推進事業

4. 1 みやぎIT教育推進協議会

みやぎIT教育推進構想のもと、みやぎのIT教育の持続的な充実発展を確かなものにしていくために、今後のみやぎIT教育書施策の基本的方向性と全体計画を示し、進行管理を行う。

- ◎みやぎIT教育推進事業及びポータルサイトリーフレット作成・配布
- ◎みやぎIT教育実践事例集作成・配布・公開
- ◎みやぎIT教育シンポジウム開催



4. 2 交流推進プロジェクト委員会（e-Human プロジェクト委員会）

学校種を超えて、地域や身近な人々との広域的なパートナーシップを培う。これらの人々と連携して共に学ぶ環境を構築し、広がりのある交流学习を展開する。

- ◎「みやぎIT教育ポータルサイト」の構築、運用
<http://e-net.edu-c.pref.miyagi.jp/>
- ◎《みやぎ学びの情報局》「みやぎ みんな友達プロジェクト」
- ◎初等理科実験コンテンツ作成プロジェクト



4. 3 研究開発プロジェクト委員会（e-School プロジェクト委員会）

各学校の優れた実践成果をもとに指導上参考となる資料を作成する。子どもの健全育成や「わかる授業」を実現する際に有効となる教育用デジタルコンテンツの研究開発を行い、その普及にあたる。

- ◎《情報モラル育成プロジェクト》「楽しく学べる情報モラル」
- 情報モラル実践事例集作成
- 情報モラル保護者向け及び学校管理者向けリーフレット作成・配布



4. 4 連携協力プロジェクト委員会（e-Community プロジェクト委員会）

産・官・学・民が連携し「確かな学力」の定着と「情報活用能力」の育成を図ることができるよう、ITの持つ様々な機能と可能性を効果的に活用し、学習者の立場に立った多様な学習を実現する。

- ◎《学力向上プロジェクト》
- 学校評価支援システム（SQS）活用プロジェクト
- WebTeacher プロジェクト
- e-黒板活用プロジェクト
- ・実践事例集作成・公開

